

祝 辞

本日は、すばらしい式典を迎えられまして、おめでとうございます。本校がこの三十年の間に本当にすばらしい教育の成果をあげられ、「駒場東邦あり」というふう
にその名を天下にとどろかすようになられたことは、まことに慶賀にたえません。心からお祝い申し上げます。

これはひとえに、創設にあたられました菊地龍道先生、そしてその教育理念を継承され展開されました高山政雄先生、このお二人の偉業によるものと思えます。そしてそのお二人の偉業を継がれて今日の興隆を築いてこられました大橋、久保田両校長先生、さらにはそれらの校長先生を助けて本校を築いてこられた教職員の皆さん、生徒、ご父兄の皆さんの心を合せた努力の成果であると、心から敬意を表す次第であります。

額田理事長と菊地龍道先生が強調されましたその「頭脳の働き」が、やがて我国の天然資源の乏しさを克服して福祉国家を実現すると云う本校の教育の大目標を伺い究の展開でございませう。

この度の利根川進教授のノーベル賞受賞に際しまして、その事がまた強く指摘された訳でございませう。その意味において、本校の菊地先生が掲げられました大目標も又、いまだ道なかにあると言うべきでございませう。

生徒諸君の頭脳の働きが、尽きることのない天然資源となつて人々に寄与し得るようになるためには、すでに見出された知識を記憶し応用して、それを展開するといふことではなくて、自ら探究し発見しようとする学習が広がるものでなければなりません。

教職員、生徒、父母の皆様がこの三十年のすばらしい発展を振り返りながら、本校創設の目標に改めて思いをいたされまして、その理想の実現に新たな努力を払われるよう期待いたしまして、私のお祝いの言葉にさせていただきます。

元文部事務次官
独協学園理事長

木 田 宏

ますと、そこには敗戦の疲弊の中から我国を再興しようとした憂国の心情と教育に寄せられた大きな自信と信頼があふれていると云う感じがするのでございます。

この卓越した教育信条の下に、心を合せて教育に、学習に勤しまれてきた皆様方の築かれたものが、今日の本校であり、今日の式典の精義であると心から敬意を表している次第でございませう。

「竹やり精神」ではなくて、科学技術によって国を興そうとされた建学の理念は、今日ある程度までその実現をみたかのごとくであります。我国の工業製品は、その優れた品質によって世界各地に浸透し、世界経済に大きな影響を及ぼすまでに至りました。しかし、その事のゆえに我国の国際関係に新たな問題を惹起していることは、皆様が今日憂慮しておられる通りでございませう。

今、我国に必要なことは、工業製品の開発ということだけではなくて、その奥にあるべき真に創造的な学問研

